

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光交流課
	施策	観光客誘致の推進		電話番号	087-839-2416
	基本事業	MICE(マイス)の誘致促進		事業実施主体	市
	事務事業	観光コンベンション振興推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の外郭団体である(公財)高松観光コンベンション・ビューローでは、観光客及びコンベンションの誘致を中心に活動を行い、本市の経済活性化はもとより、国際会議観光都市・高松のイメージアップに取り組んでいる。当財団に対し、年間の運営補助及び全国大会の開催補助を行う。また、国際コンベンションの振興・誘致等に取り組む国際観光振興機構に負担金を拠出する。		
29年度概要	首都圏及び関西圏在住観光大使研修会等 観光コンベンションビューロー運営補助金		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象(何を)	市民及び県外からの観光客等
意図(どのような状態にしたいか)	サンポート高松をはじめとする高松への来訪者を増加させる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
全国大会開催補助金支出件数	件			103	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	高松シンボルタワー来場者数	人	目標値			2,400,000	2,500,000	2,600,000
			実績値			2,478,000		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	3000000	(目標達成度)					(達成度) 103.3%
		目標指標を超え、目標を達成した。今後も費用対効果を考えながら、適切な補助金の支出が必要である。						
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
トータルコスト	[円]	109,336	117,309	110,154	81,801
(事業費)	[円]	106,384	114,238	107,014	78,661
(職員人件費)	[円]	2,952	3,071	3,140	3,140

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	----------	---------------------------	-------------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

(公財)高松観光コンベンション・ビューローへの運営補助を行うことで、サンポート高松周辺のにぎわいづくりが行われ、徐々に本市に訪れる観光客等が増加しているため、今後も事業を継続する必要がある。今後は、費用対効果が課題である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

費用対効果については、実施主体の高松観光コンベンション・ビューローを協議をしながら、効率的に事業を実施していく。